

魚沼市ものづくりタイムズ

ものづくりの挑戦者たち



事務局：魚沼市役所商工課 792-9753 Fax 793-1016
メール通信先：産業振興係青木 (mail: aoki-susumu@city.uonuma.niigata.jp)

2005年10月31日 No. 1 魚沼市ものづくり振興協議会

入会申込み40社

9月末日〆切の魚沼市ものづくり振興協議会
入会申込みが40社ありました。



去る、9月22日開催の『魚沼地域ビジネス交流会』に、ものづくりメンバーの皆さん方からも多数参加いただきありがとうございました。参加企業123社、143名は、魚沼大震災からの復興という追い風や魚沼市と南魚沼市の枠組みで取組んだ『合併効果』もひとつの要因ですが、何よりも地域の企業の熱意が結果として大きな数字に表れたものと振り返ります。

このビジネス交流会と同時進行で、ものづくり振興協議会入会を進めたため、一部で誤解や混乱がありましたが、『自らを変えよう、魚沼市の製造業を変えよう』とする40社の申込みをいただきました。本会のあるべき姿は、名前だけを置く親睦団体ではなく、自社の在り方や魚沼市製造業の在り方を『ものづくり』を共通項とする仲間(集団)で考え、魚沼市全体に波及させようとする企業家集団です。

【申込企業一覧】(あいうえお順)
(株)アートプリント角越/アイデック(株)/(有)あかつき印刷/旭コンクリート(株)/ウイング製作所/(株)魚沼オールパッケージ/魚沼市森林組合/

(株)栄工舎/(株)大沢加工/岡部組合資会社/小川電気(株)/サトウ産業(株)/サンケン(株)/シンコー電気(株)/スター精密/守門機工(株)/大栄溶接工業/(株)大力納豆/東邦電子(株)新潟工場/(株)常盤製作所 新潟工場/(有)中新精工/(株)中村バルブ製作所/(株)新潟プレシジョン/(株)ニットク/ニューロング精機(株)小出工場/(有)B・S・Y/(有)北新工機/ホリカフーズ(株)/松喜合資会社/マルイチ電子/(株)三国東洋/山田精工(株)/(株)ゆのたに/夢の工場/(株)掘吉食品/(株)理研計測器製作所/(株)アルプス/ビジネスクリエーション新潟/(有)大栄食品/(有)サカキヤ/新潟県立魚沼テクノスクール(賛助)

今後の動き

当初、18年度予算編成前に設立して、既成事実のもとで魚沼市商工振興策の提案を図る予定でした。しかし、魚沼市総合計画策定作業を進めるなか、各課で事業の実施計画の提出を求められ、商工課では、地域産業の競争力強化施策として商工業支援事業の中で、魚沼市ものづくり振興協議会の活動支援を掲げ、次にあげる項目について推進することでヒヤリングが終了しました。

【具体的な振興策】

- ・魚沼市ものづくり振興協議会活動支援
- ・コミュニティ等新分野開拓支援
- ・新製品、新商品開発支援(大学連携)
- ・中小企業大学校等研修費助成
(現行制度の拡大適応)
- ・メイドIN魚沼ブランド化推進

今後、17年度内設立を確認し、皆さんと協議(11月中旬に発起人会を開催)を重ねながら、振興策の器に具体的な中身を盛り込み、協議会の意思統一を図るように、じっくり取組む旨ご理解をお願いします。

2005 諏訪圏工業メッセ

を、発起人である山田精工の井口さんより、紹介していただき、商工課員(吉田・風間・青木)で、長野県松本市に行って(10/13)きました。

諏訪圏域の企業 255 社がブース出展、来場者が3日間で23,100人という、日本のスイスといわれるに十分な催しでした。記念講演では、セイコーエプソン(株)代表取締役社長花岡清二氏の戦略的企業経営談を拝聴することができ、興奮しながら会場を後にしました。



記念講演の概要

1 企業理念

(1) 信頼経営(CSR)

社員・サプライヤーが一体となって顧客・株主だけではなく、行政、地域住民、NGO等に対する社会的役割を担っていくこと

(2) 理念

「Exceed Your Vision」お客様の想像を超えること。お客様の創造性を開花させる、お客様の想い・期待を超える。

(3) CSと品質

感動・感激・驚きの顧客満足を得ること、経営サイトとパフォーマンスサイト両面での品質の向上が重要。

(4) 環境

3R (Reduce、Recycle、Reuse)
商品自体の省エネ + 作るときの省エネ

2 「ものづくり」への姿勢

(1) 東京オリンピック

時計と印刷の融合という時代の要請に応える。現場は「想い」さえあれば作ることができる。経営者は現場の「想い」を支援し、途中であきらめないことが大切。

(2) 世界初・世界最小

チャレンジと独創性と総合力

チャレンジ:必要なものは自分で開発する。

独創性:世の中に無いものを作る。

総合力:社員の力を結集し経営に取り組む。

(3) 知的財産

知的財産の囲い込み。コア技術を応用し、さらに難しい完成品にチャレンジ

(4) 自社の強みを明確化

- ・リーディングカンパニー(常に先行)
- ・技術の囲い込み
- ・知的財産力の強化
- ・世界に展開する営業力

(5) 中長期計画の作成

現状と未来像のギャップを埋めていくため、明日からのアクションに結びつく計画作り。

3 製造業の本質

(1) 独自技術による商品創出

社員一人ひとりが商品・サービスにいかに関われるか、どういう付加価値をつけることができるか。

(2) 本社機能の再構築

間接社員が現業社員をいかにサポートできるか。結果管理だけの総務部門は要らない。

(3) 技術者の軸

技術開発のみならず、競合他社の状況やお客様の思いを確認しながら開発に当たることが重要。

(4) 改善の二つのルート

設計からの要求と、生産現場からの指摘
お互いに難しいことを要求しあう。



埼玉県南・東京北部地域

受発注企業商談会(11/11)

に、シンコー電気(株)が参加します。今後の魚沼地域ビジネス交流会にむけて、課員も勉強してきたいと思っています。